



Title	デザイン理論 52号 目次
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2008, 52
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/53453
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

デザイン理論 52/2008春

目次

創設50周年を迎える意匠学会 — 会長就任挨拶に代えて —	藤田 治彦	1
選挙管理委員会報告	小宮 容一	3

学術論文

《トリアディック・バレエ》再考	青木 加苗	7
機械時代の映画性	伊集院敬行	21
— 中井正一の映画論におけるル・コルビュジエと精神分析理論 —		
斎藤与里における西洋受容とスタイル・コレクション	宇野 仁美	35
— 「繪畫の新潮流と私見」を中心に —		
C. R. マッキントッシュの空間構成の手法論について	川口 佳子	49
— インテリア・デザインにおける「空間内空間」の分析を中心に —		
フランク・ロイド・ライトのテキスタイル・ブロック住宅の空間構成	末包 伸吾	63
クリストファー・ドレッサーのアート・ボタニー	竹内 有子	79
— ゲーテの形態学との比較を中心に —		
中近世における韃靼人図の受容	並木 誠士	93
— 個人蔵本の紹介と位置づけ —		

研究例会・分科会・大会発表要旨

第194回研究例会 (2008. 2.16. 於: 大阪工業大学)

アート理解、それは経験が尺度となる	神藏理恵子	108
— ファーレ立川と東京ミッドタウンのパブリックアートを中心に —		
視覚伝達における漢字のデザイン性に関する研究	徐 驥	110
— 象形性の復活 —		

第49回大会 (2007.11.10, 11. 於: 神戸大学)

研究発表要旨

エジプト・シナイ半島 ラーヤ遺跡出土にみる初期イスラーム時代の染織製について	井関 和代	112
「誰が袖図」屏風制作の一様相	奥田 晶子	114
— 小袖モティーフにおける文様表現に関する考察を中心に —		
戦後における服飾をめぐる言説・実践に見る「日本らしさ」と戦前	安城 寿子	116
— 中原淳一と花森安治を例に —		
デザイン要素としてのテクスチャ	田村 剛	118
— 景観の調和性向上をめざして		

アイリーン・グレイの屏風・インテリア・建築について	川上比奈子	120
屏風と住宅 E. 1027に共通する欠けた矩形と空隙		
山越邦彦の「構築」概念について	梅宮 弘光	122
—— 1920-30年代日本における構成主義思想受容の一側面 ——		
フィンランド木造建築と木の美について	小林 文菜	124
—— アールトの木の美学から21世紀の木造建築教育まで ——		

パネル発表要旨

ル・コルビュジエの二つのグリッド	伊集院敬行	126
トラセ・レギュラトゥールとモデュロール		
フォトコラージュによるインスタレーション作品の試み	川島 洋一	128
「世界の中の神戸 神戸の中の世界」		
スマート GUI デザイン	櫛 勝彦	130
固有性と普遍性をつなぐ空間構成の展開	末包 伸吾	132
環境共生と景観	徳岡 昌克	134

書評・図書紹介

ANNE Massey 著	森山 貴之	136
『Hollywood Beyond the Screen: Design and Material Culture』		
トーマス・ハウフェ著／藪亭訳	今井 美樹	138
『近代から現代までのデザイン史入門 1750-2000年』		
土田真紀著	清水 愛子	140
『さまよえる工藝 —— 柳宗悦と近代』		
エドモンド・ドゥ・ヴァール著	大長 智広	142
『バーナード・リーチ再考 スタジオ・ポタリーと陶芸の現代』		
稻賀繁美編	永井 隆則	146
『伝統工藝再考 過去発掘・現状分析・将来展望 京のうちそと』		
太田喬夫・三木順子編	谷本 尚子	150
『芸術展示の現象学』		

会報第63号

投稿規程・執筆要領

編集後記

欧文要旨

表紙デザイン 肥後ユキコ